

# EMSニュース 第70号

2018.12.27

## 内部監査が終了しました

### ～目次～

内部監査が終了しました。

1 ページ

内部監査での有効事例の紹介

2 ページ

市民公開講座を開催しました。

3 ページ

1 月期運用管理点検のお願い

4 ページ



出雲キャンパスEMS  
実施委員会

医学部及び附属病院  
EMS対応委員会

11月に平成30年度の内部監査を実施しました。監査チームは、内部監査・スキルアップ研修に合格した内部監査員の資格を持つ教職員で編成しました。(1チーム4～5名ずつ計6チーム) 監査は、実地監査前に被監査部署等へチェックリストを送付、回答されたチェックリストを基に各内部監査チームでどういった監査を実施したらよいか検討(レター監査)を行い、その後実地監査に臨むという方法により実施しました。附属病院で普段勤務している教職員が医学部へ、医学部で勤務している教職員が附属病院へ赴き、実地の監査を行いました。EMS文書に基づいた指摘もあり、EMSについての認識がさらに深くなる内容の濃い監査となりました。監査結果は、有効事例が36件、観察事項が14件でした。今後は、指摘された観察事項について対応していくことになりますので、確認、改善する事項についてはEMS推進員を通じて依頼をしますので、その際にはご協力方よろしくお願ひします。

内部監査員の皆さま、被監査部署の皆様、ご協力ありがとうございました。



実際の監査の様子



## ～内部監査での有効事例を一部紹介します～

11月に実施した内部監査では、独自の工夫をこらした有効な取組をされている部署がありました。その中の一部を紹介します。

### <リハビリテーション部>

EMS基本教育の受講については、毎朝の全体兆例においてEMS推進員により受講の声掛けが行なわれ、個々の受講日が確認できる参加状況リストを作成し、未受講者の受講を促すように工夫されています。

(図1)

また、資源ごみは分別種類を明記した収集ボックスを使用し、省スペース化を兼ねた大変使いやすいものになっていました。(図2)



(図1)



(図2)

# 市民公開講座を開催しました

環境教育・環境研究作業部会では、本学の環境研究成果を地域に還元する一環として平成19年度より毎年1回、環境に関する市民公開講座を開催しています。平成30年度は12月5日（水）14：00～15：30に出雲キャンパス講義棟1階国際交流ラウンジを会場に「身近な生活環境と健康-あなたの健康はいくら？身体にまつわるお金の話-」と題して開催しました。

今回は、島根大学地域包括ケア教育研究センター講師・文部科学省卓越研究員である赤井研樹先生による行動経済学の立場から、環境と健康をテーマとした講演をして頂きました。赤井先生は、行動経済学を医療や予防医学に応用したり、地域でそうした取組みを推進する、全国的にみてもユニークな専任教員でいらっしゃいます。

最初に、イギリスでたばこのポイ捨てを無くすために、投票箱式の吸い殻入れを街中に設置したところ、たばこのポイ捨てが大きく削減された事例が報告され、環境美化に行動経済学が活かされる事が紹介されました。環境美化だけでなく、行動経済学が地域での健康づくりにも活かされている事も取り上げられました。赤井先生から、ユーモアや質問タイムを交えながら、経済学や行動経済学、そしてその医療や予防医学への応用について、大変分かりやすくご講演頂きました。中では、先生のご研究を通して、日本人に対しては、健康に対する危険性を伝えるより、健康行動を取ることによるメリットを伝える方が、適切な健康行動を取りやすいという研究成果のご発表がありました。例えば、“塩分を〇g摂ると脳卒中を発症しやすい”というより“塩分を〇g減らすと脳卒中を予防できる”と伝えられる方が良いという内容でした。一見、全く関係ないようにみえる経済学と医学ですが、行動経済学を通して人々の行動を変えるという点では、今後ますます医学医療への応用が期待される分野であることが、ポイントを押さえ分かりやすく伝えられました。この他、予防医学につながった、いくつかの事例のご紹介を頂き、これらを通じた社会環境も含めた環境と健康への貢献を理解できる時間となりました。島根大学発信で多彩な学際的な研究や取組みがなされていることが紹介され、本学の魅力が伝えられた講演会でした。

平日昼間にも関わらず、今回の参加者は30名でした。講演の中で、活発な意見交換が行われ、環境と健康に関する市民の皆様への関心の高さが伺えました。

今後も本学のEMS活動を市民の皆様へ広く知って頂けるよう、こうした公開講座を継続して開催していきたいと思っております。



市民公開講座の様子

# 1月期運用管理点検のお願い

1月は、EMS活動について実施できているかどうかのチェックをEMS推進員の方を通じてお願いしています。

EMS推進員の方は、HPのアンケートに回答する形で入力をお願いします。Web運用管理点検は1年に2回(7月期と1月期)ですが、部署での活動を見直すチャンスとし、ごみの分別やマニュアルの掲示等実施できていない項目等については、この機会に改善をお願いします。

1月初めに各EMS推進員の皆様にメールにて点検を依頼します。締め切り:1月31日(木)

※入力はインセンティブポイント実績の対象となりますので、よろしくお願いします。

## 運用管理点検票 (出雲キャンパス)

2019年1月期 運用管理点検

※締め切り:1月31日(木)

※医学部EMS推進員と附属病院EMS推進員とアンケート入力サイトが分かれていますのでご注意ください。

☆医学部EMS推進員はこちら↓↓

3つのカテゴリーすべてお答え下さい。

(実験室がない部署は生活系とエネルギー系のみ回答してください)

生活系

エネルギー系

実験系 (実験室がない部署は結構です)

☆附属病院EMS推進員はこちら↓↓

3つのカテゴリーすべてお答え下さい。

(診療行為がない部署は生活系とエネルギー系のみ回答してください)

生活系

エネルギー系

診療系 (診療行為がない部署は結構です)

## EMS事務局からのお知らせ

EMS事務局では、みなさんから省エネのアイデアを募集しております。

我が家での成功例など大学での省エネに有効なものがありましたら以下のEMS事務局までお寄せいただきたいと思います。ご協力をよろしくお願いします。

学内関係者用には、EMS関係会議の議事録、EMS研修の資料、環境に関する諸規則・マニュアル等が参照できますのでご利用ください。

その他、EMSに関するご意見等ございましたら、以下の連絡先又はホームページ「キャンパス環境投書箱」へお寄せください。

○島根大学出雲キャンパスEMS事務局  
医学部会計課施設管理室環境マネジメント担当  
TEL 0853-20-2549  
FAX 0853-20-2049  
E-Mail [fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp](mailto:fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp)

○島根大学ホームページ「環境マネジメントシステム」  
出雲キャンパスでのEMS活動内  
キャンパス環境投書箱  
<http://www.leaf.shimane-u.ac.jp/enquete/no/SVkljsVv0n>

